

No.214
2024.3.21

響き

庄原コミュニティセンター報

庄原のうごき

令和6年1月31日現在
世帯数………2,734戸
男 性………3,609人
女 性………3,838人
合 計………7,447人

発行／庄原コミュニティセンター
出賃市斐川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる庄原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

1/25(木)
東部保育園

2/9(金)
庄原保育園

保育園の子どもたちとの 味噌作り

自主企画事業

こども倶楽部

東部保育園



今年もこの時期がやってきました! 楽しみにしていた「こども倶楽部」と子どもたちとの味噌作り♪

暑い暑い夏の日を乗り越え、美味しさを蓄えた大豆(一部枯れたものもありますが…)

この日、庄原保育園、東部保育園のみなさんと味噌として仕込みました。それぞれの園に秘伝のレシピがあり、代々受け継がれているとのこと。この日仕込んだ味噌は、子どもたちが年長になった時に給食の味噌汁として提供されます。その話を聞いて、「早く食べたいよう!」という子どもたち。その日が待ち遠しいですね♪

麹(こうじ)
まぜまぜ



味噌玉
ポン!

庄原保育園

クイズ:
何をしている
ところでしょう?



こたえ:
味噌の空気抜き

2/26
(月)

斐川東中学校のみなさん ありがとうございました!

時おり雨の降る寒い中、斐川東中の有志の皆さんが地域に貢献しようとJR庄原駅の清掃奉仕活動をしてくださいました。窓や壁・トイレ掃除、くもの巣取り等丁寧に一生懸命掃除いただき、おかげさまで駅舎はピカピカになりとても気持ちよくなりました。東中の皆さん、寒い中ありがとうございました。



2/23
(金)

子どもクッキング教室 春 菜 彩 美 おいしくできたよ!



美味しそう!

放課後子ども教室

4年生以上24名の参加で、JAしまね「ふあみ〜ゆ」を会場に、4つのグループに分かれて「鶏肉とごぼうのちらし寿司」「鮭と野菜のマヨみそ焼き」「リンゴの焼きパイクリーム添え」を作りました。少し時間はかかってしまいましたが、春らしい彩り鮮やかな料理が完成。良い香りときれいな見た目に「もう美味しいにきまってるでしょう。早く食べましょう!」と調理途中からワクワクしている子どももいました。毎回クッキング教室に参加していた6年生さんにとって最後の教室。回数を重ね、本当に手際よく調理できるようになった姿に成長を感じることができました。



早く食べたいよ



2/27
(火)

地域小サロン 3歳のちびっこも大活躍のクリーム石けん作り

川東ミニミニサロン

「川東ミニミニサロン」は月2回の活動に毎回、ラジオ体操、スポーツ吹き矢、ハンドベル演奏を取り入れておられます。

2月のサロンでは、環境にやさしいクリーム石けん作りに挑戦しました。ペットボトルにEMW(EM菌)、EM活性液、水を入れ、よく混ぜるようこころと転がす作業をみんなでわいわいがやがやとおしゃべりしながら行いました。今回もサロンのアイドルS君が大活躍。みんなと一緒にこころと転がすペットボトルを上手に転がしていました。

「川東ミニミニサロン」は、高齢者のみのサロンではなく、世代を超えて交流をしているサロンです。



1班
1/9
(火)

2班
1/18
(木)

3班
1/26
(金)

哀愁のある音色とコラボ♪ ～「おいでませの会」新年会～

ふれあいサロン
おいでませの会



「おいでませの会」は、昨年度に引き続き、班ごとに新年会を行いました。荘原コミセンで活動しておられる大正琴教室のみなさんに来ていただき、にぎやかに盛り上げていただきました。

大正琴教室のみなさんから「おいでませの会」のみなさんとコラボしたいという熱烈な申し出があり、ハーモニカ演奏、手話、ギター演奏など各班で楽しくコラボすることができました。大正琴独特の哀愁のある音色に包まれながら、みんなで歌い、笑い合い、楽しく新年をスタートすることができました。



1班
2/13
(火)

2班
2/15
(木)

3班
2/16
(金)

小学生と一緒に遊んで元気をもらいました! ～「昔遊び交流」にぎやかに～

2月の「おいでませの会」は、毎年恒例の荘原小1年生との交流をしました。各班ともグループに分かれた子どもたちがこま回し、けん玉、めんこ、お手玉、あやりのコーナーを順番に巡りながら、会員さんやボランティアさんと交流をしました。この「昔遊び交流」は、核家族化で交流の少ない小学生と高齢者が昔遊びを通してふれあい、交流ができる貴重な機会となっています。



2/24
(土)

「今日もえかった」と言い合える活動を！

荘原コミュニティセンター
女性クラブ
やまもの会



今年度のミニ講演会は、「社会福祉法人 金太郎の家」代表理事・安食かをるさんに事業立ち上げのきっかけから今日までの歩みと今後についてお話していただきました。

荘原公民館(現在の荘原コミュニティセンター)での活動がきっかけとなって生まれた「金太郎の家」。事業を立ち上げたものの利用がなく、落ち込んでいるときに「底辺を楽しめ」「心から何かをしようとしていると、必ず協力してくれる人が現れ、思いはつながる」「パーフェクトでなくていい。自分にはないものは、他の人に借りればいい」……安食さんの心の支えとなった言葉は私たちの活動、日々の暮らしにも通じるものがあるのではないのでしょうか。

「今日もえかった」と言い合える活動を……をモットーにパワフルに活動しておられる安食さんから元気もらいました。

講演会終了後は、非常食をみんなで作り、「金太郎の家」の稲垣長郷さんによる手品を楽しみました。

また、当日は古布やタオルの回収を行い、荘原地区内の福祉施設に寄贈しました。



2/25
(日)

咲きほこれ！

バラの開花が楽しみです

接ぎ木講習

Showバラの会



福島博さんを講師に、接ぎ木講習会が行われました。前回挿木をしたノイバラがいい具合に発根しており、そこに穂木となるバラを差し込みました。講師の福島さんには、プロジェクターでの座学に始まり、実技まで大変丁寧に教えていただきました。接ぎ木はなかなか難しい作業で、皆さん、真剣な表情で取り組んでおられました。次回は、冬剪定の講習を行う予定です。

このように、四季を通してバラに関する様々な講習会を実施しております。自分だけのオリジナルのスタンダード仕立てのバラを作りたいという方はぜひ「Showバラの会」の講座に参加してみてくださいね。(※スタンダード…幹を筆で、上部に葉を茂らせる仕立て方)

3/2
(土)

薔薇の冬剪定と追肥

3月2日(土)、雪のちらつく寒い中ではありますが、福島博さんの指導のもと、総勢20名で、荘原コミセンのバラの冬剪定講座と追肥作業を行いました。

今年も斐川地区で「オープンガーデン」が5月11(土)～12(日)、18(土)～19(日)の日程で開催されます。新作のつるバラもありますので、ぜひ皆さんお越しください。



寒い中作業に参加してくださった「Showバラの会」の皆さん、どうもありがとうございました!!

1/17
(水)

島根県老人クラブ連合会

活動賞大賞・全国老人クラブ連合会

活動賞 受賞

荘原地区寿昌クラブ連合会 荘和会

受賞 おめでとうございます

令和6年1月17日(水)松江エクセルホテル東急において、授賞式が行われました。

60代から90代の121名の会員たちで町内の神社境内やコミュニティセンターの清掃、児童の見守り等を長年にわたり活動を行っています。清掃活動だけでなく、研修旅行やグランドゴルフなどのスポーツ、文化祭出品作品の作成など、リクリエーションを組み合わせることで、参加者の意欲を高め、生きがいとなり、長きにわたり活動を行うことにつながっています。

また、全国的に会員の減少が顕著ですが、当会は新規会員の加入促進活動も行っており、仲間づくりにも積極的に取り組んでいます。

以上の活動内容が評価され受賞しました。



●受賞者コメント(会長 稲田清春)

私たち荘原町の「寿昌クラブ荘和会」の創造的活動が、島根県のみならず全国の老人クラブの模範になるものと評価いただき、ダブル表彰の栄誉に浴しました。この表彰のおかげで荘和会加入者も増加しており大変喜んでおります。



写真でたどる荘原 Vol.11 あの日あの時～そして現在

まちづくり部

～荘原コミュニティセンター～

昭和30年代は、荘原小学校の敷地内にあった「青年教室」で公民館活動をしていた。

当時の館長は、小学校などに勤務発令されていたが、昭和44年(1969)4月、公民館に専任館長・杉原満雄さんが任命された。

昭和53年(1978)5月、現在地に「荘原公民館」が竣工・開館。平成3年(1991)10月「研修室」を増築、平成12年(2000)3月には「おいでませ館」を開館して機能が充実。

平成23年(2011)10月1日、斐川町と出雲市との合併により、平成25年(2013)4月、「荘原公民館」から「荘原コミュニティセンター」に改組され、現在に至る。

(「荘原小学校PTA創立40周年記念誌」より引用)



◀旧「荘原公民館」として利用された「青年教室」(北館とタブノキとの間の平屋建物)



▲北館左・西端の平屋建物「青年教室」



▲おいでませ館(正面)



▲現在の荘原コミュニティセンター(正面)

随時受付中

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から送付いただいた荘原の写真などの歴史資料を整理しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

ありがとうございました

令和6年1月1日の能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

また、復興に携わっておられるすべての皆様のご健康と、被災地の皆様が一刻も早く穏やかな日常が取り戻せますようお祈りいたします。

この度の能登半島地震について義援金の呼びかけをしましたところ、地域の皆様、荘原コミュニティセンターに来館下さった多くの皆様にご協力ご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

お預かりしました義援金は、公益財団法人山陰中央新報社会福祉事業団を通して日本赤十字社に送金され、被災地支援に充てられます(令和6年3月5日付けの山陰中央新報に掲載)。

義援金総額 116,814 円

たくさんのご協力・ご支援ありがとうございました。

荘原地区自治協会 / 荘原地区社会福祉協議会 / 荘原コミュニティセンター / 荘原コミュニティセンター女性クラブやまももの会

1/29
(月)

荘原コミセン自衛消防訓練の実施

荘原コミュニティセンター

コミセン利用者の皆さんと一緒に消防訓練を行いました。消防訓練の後、消防用設備点検業者の方の指導の下、実際に消火器を使って初期消火の仕方を学びました。訓練の内容を反省し、いざという時に役に立てていきたいと思っています。



全員が避難したところ
点呼し全員の無事が確認されました!

お礼

●パイプ TENT をいただきました

NOSAI高根 斐川地域推進協議会様より、ワンタッチ式パイプ TENT を進呈いただきました。

住民活動及び災害時の避難場所、応急医療拠点などに有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

須田 裕史様

(幸町自治会)

岡 康宏様

(中清自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。